

令和6年度 太子町 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：1名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・認知症の人やその家族の相談や、医療や介護等関係機関へのつなぎ
 - ・支援を行う関係者が、情報交換や支援事例の検討などを行う連絡会議の設置
 - ・地元医師会や認知症サポート医とのネットワークの形成
 - ・認知症ケアパスの作成・普及
 - ・認知症の人と家族を支える地域の人材やサービス拠点についての情報収集
 - ・在宅介護サービス従事者への認知症研修の実施

報告者氏名：澤井 佐和子
(町担当及び認知症地域支援推進員)

太子町 認知症施策全体図 (令和7年3月31日現在)

認知症予防 の推進

- ・ 出前講座「認知症にならないために」 実績：6回、159人
- ・ もの忘れ相談 * 要予約・無料
月1回、臨床心理士による検査と相談を実施
実績：11回、35人（異常なし：27人、異常あり：8人）
- ・ 健康チェック相談会で県版認知症チェックシートの活用

医療体制の 充実

- ・ かかりつけ医認知症対応力向上研修 1回実施
- ・ 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 1回実施

地域支援 ネットワーク の強化

- ・ 太子町オレンジライフサポート（認知症ケアパス）
- ・ 高齢者等安心見守りネットワーク事業 104事業所と協定締結
- ・ 高齢者等徘徊SOSネットワーク事業 30名登録
- ・ 太子町あんしん見守りキーホルダー登録事業 1,115名登録
- ・ 認知症サポーター養成講座
8回実施、330名のサポーター誕生
累計サポーター数：7440名
(うちキッズサポーター：4825名)
- ・ 認知症サポーターフォローアップ講座 1回実施、14名受講
- ・ チームオレンジ 登録名 チームオレンジ太子
- ・ 認知症カフェ（オレンジカフェ）町内2ヵ所

標題 総合的な認知症施策の推進

令和6年度の活動経過

認知症への正しい知識や早期発見とチームオレンジ活動

●あすかふるさとまつりでブース出店、ステージでコグニ体操



●9月21日（認知症の日）に映画オレンジランプ上映会



地域の居場所づくり本人、家族の交流や自らの発信を支援

認知症本人やその家族が集い、創作活動を通じて、自身の希望や必要としていることを話し、交流する「オレンジ広場」を月2回開催。チームオレンジが地域の担い手として活動支援した。



オレンジイノベーション
プログラムに参加

実施の効果及び課題

■実施の効果と課題

認知症本人と家族が集う「オレンジ広場」を開講し、当事者と家族とチームオレンジをつなぐ仕組みができた。ただ、参加勧奨する過程で、認知症へのネガティブなイメージが本人、家族に根強くある場面が多くあった。「古い認知症観」を払拭する取り組みが必要だと感じる。

■今後の取組み

- ・幅広い世代に向け、「新しい認知症観」の普及啓発の実施
- ・認知症予防に資する可能性のある取り組みを周知する教室の開講
- ・脳体力チェックとデジタルを使った認知症対策の実施
- ・チームオレンジのスキルアップを図りながら、地域の担い手として活躍する仕組みの構築

最後に・・・

共生社会の実現に向けて、ロバ隊長を先頭に、ゆっくり、その歩みを進める。